



～平成から令和へ 南信州のこの一年～

令和元年(2019年)県政おもなできごと in 南信州

『伝統と最先端が響き合う「リニア新時代」のフロンティア～南信州～』をスローガンに、南信州地域の県現地機関では、市町村など関係機関とスクラムを組み、ONE TEAM (ワンチーム) となって、地域資源を活かした地域振興や、地元就職の促進など地域課題の解決に向けた取組を進めてきました。この一年を振り返り、当地域の県政おもなできごと 10 項目をまとめました。

南信州地域 県政 10 大ニュース

月	項 目
2	就業促進・働き方改革戦略会議 南信州地域会議が、地域で取組む重点項目を決定 ～ 企業見学会・おためしインターンシップ を初開催～
3	リニア中央新幹線関連工事が進む！！ 県道松川インター大鹿線「東山トンネル」が開通
4	「長野県議会議員一般選挙」・「参議院議員通常選挙」の執行 “子どもと高齢者”を交通事故から守る緊急対策を実施
6	広げよう「竹取再生」の環！！ ～ 地域産メンマづくり講習会・竹取再生オープンミーティング を初開催～
7	シードルの産地“南信州”をPR！ ～ 南信州地域のシードル商談会・南信州シードルウィーク を初開催～
9	管内でCSF(豚コレラ)発生 防疫措置を実施 「市田柿」のさらなるブランド化へ！！ ～「市田柿工房」の拡張工事が竣工、JAみなみ信州柿部会が内閣総理大臣賞を受賞～
10	「南信州民俗芸能継承推進月間」で、さまざまなイベントを開催
11	早期の全線開通に弾み！！ 三遠南信自動車道「天龍峡大橋」が開通

長野県全域の重大ニュース

月	項 目
10	台風第 19 号災害の復旧・復興を支援 ～ONE NAGANO を合言葉に～

【凡例】

○2018 年から 2022 年までを計画期間とする しあわせ信州創造プラン 2.0 「南信州地域計画」のめざす姿に従って 4 つに分類し、表示してあります。

- 産業** 地域の潜在力を活かした産業が躍進する南信州
- 人と地域** 豊かな自然・文化と共生し、人と地域が輝く南信州
- 安全安心** 安全・安心な暮らしが実現できる南信州
- 県政全般** 県政全般に関すること



高森町 松源寺の柿すだれ

南信州地域振興局 総務管理課 総務係 (副局長) 奥原 淳夫 (担当) 小林 清二
電話 0265-53-0400 F A X 0265-53-0404 E-mail minamichi-somu@pref.nagano.lg.jp
飯田保健福祉事務所 総務課 総務係 (副所長) 手塚 靖彦 (担当) 中山 博人
南信州農業改良普及センター (所長) 神通川 洋一 (担当) 堀 澄人
飯田家畜保健衛生所 保健衛生課 (所長) 宮澤 隆 (担当) 木内 英昭
飯田建設事務所 総務課 総務係 (次長) 松橋 良成 (担当) 宮島 俊

2 月

**就業促進・働き方改革戦略会議 南信州地域会議が、
地域で取組む重点項目を決定**

人と地域

【地域振興局】

～企業見学会・おためしインターンシップを初開催～



南信州就職懇談会



企業見学会

当地域の産業を担う人材の育成と確保を進めようと、「長野県就業促進・働き方改革戦略会議 南信州地域会議」が、地元就職率 50%の実現に向けて、「情報発信の強化」、「インターンシップの推進」、「働き方改革の推進」からなる、地域で取り組む当面の重点項目を、2月にとりまとめました。

これを受けて、10月には、企業の人事担当者と大学の担当者との顔つなぎの場となる「南信州就職懇談会」や、初めての取組として、大学の担当者が実際に企業を訪問する「企業見学会」を、また12月には、業種ごとに一日で複数企業の職場体験ができる「おためしインターンシップ」を開催しました。

現在、当会議では、中長期的な人材確保の取組につなげようと、「キャリア教育」に関する検討を進めています。

3 月

リニア中央新幹線関連工事が進む！！

人と地域

県道 松川インター大鹿線「東山トンネル」が開通

【建設事務所】



東山トンネル 開通式

リニア中央新幹線関連工事として、県道松川インター大鹿線で進めてきた「東山トンネル」(トンネル延長L=1,201m)が完成し、3月28日に開通式を行いました。

昨年12月に開通した、同県道の松川町側の「西下トンネル」と合わせて、危険箇所の解消が進み、地域の生活道路・観光ルートとしての快適性・安全性が確保されました。

このほか、2020年度末の供用開始を目指して、飯田市による「座光寺スマートIC」の建設が本格化しています。

4 月

**「長野県議会議員一般選挙」・「参議院議員通常選挙」
の執行**

県政全般

【地域振興局】



飯田風越高等学校での選挙出前講座



飯田女子短期大学の学生の皆さんとの大型店舗での選挙啓発

任期満了に伴う「長野県議会議員一般選挙」が4月7日に、「参議院議員通常選挙」が7月21日に執行されました。

県議選は、飯田市区と下伊那郡区が合区し、定数が1減の4となって初めての選挙となりました。

若者の投票促進に向け、管内の高校等で学生への呼びかけを行ったほか、新たに、飯田女子短期大学の学生の皆さんと大型店舗での啓発を行いました。

4 月

“子どもと高齢者”を交通事故から守る緊急対策を実施

安全・安心

【地域振興局・建設事務所】



園児のお散歩コースの安全点検



横断歩道での歩行者保護の啓発

当地域では、4月に連続して3件の交通死亡事故が発生。「交通死亡事故多発警報」が発令され、これ以上、交通死亡事故を発生させまいと、春の大型連休を中心に高齢者を対象とした緊急の広報啓発活動を行いました。

また、5月の滋賀県大津市での園児が被害者となる事故を受け、8月から9月まで「園児のお散歩コースの緊急安全点検」を実施。当地域の県管理道路では、41箇所対策が必要とされました。

今後は、対策が必要とされた交差点などに、車止めポストやガードレールを整備するなどの取組を進めていくとともに、交通安全協会など関係機関と連携した啓発活動を展開していきます。

6 月

広げよう「竹取再生」の環！！

産業

～地域産メンマづくり講習会・竹取再生オープンミーティングを初開催～

【地域振興局】



地域産メンマづくり講習会



竹取再生オープンミーティング

放置された竹林による景観の悪化などが地域課題となっていることから、竹資源の利活用を広めるとともに継続的な整備を進めようと、6月には若竹の収穫から塩蔵加工までを、7月には塩抜きから味付けまでを行う、「地域産メンマづくり講習会」を開催しました。

また、10月には「竹取再生オープンミーティング」を初開催。「天竜川鷺流峡復活プロジェクト」などの事例発表、竹林整備や竹の利活用に向けての意見交換、メンマの試食会を行いました。

今後も地域の皆様が、楽しみながら竹林整備に取り組んでいただけるよう「竹取再生」の環を広げていきます。

7 月

シードルの産地“南信州”をPR！

産業

～南信州地域のシードル商談会・南信州シードルウィークを初開催～

【地域振興局】



シードル商談会



南信州地域産のシードル

シードルの産地としての認知度を高め、南信州産シードルの販路拡大につなげようと、7月に「南信州地域のシードル商談会」を初開催。シードル事業者11社、小売酒店・飲食店などのバイヤー27社38人が参加。地域の関係者の皆様に地元産シードルを知っていただく良い機会となりました。

また、12月には「シードルで乾杯！南信州シードルウィーク」を初開催。期間中は、シードルをもっと身近に感じてもらうと、提供店舗を48店に拡大。インスタグラムキャンペーンも同時開催し、地域の新たな魅力「シードル」を盛り上げています。

9 月

管内でCSF(豚コレラ)発生 防疫措置を実施

安全・安心

【全機関】



防疫措置（埋却処分）



野生イノシシへの経口ワクチン散布

2月に県内で初めて感染が確認され、その拡大が続いたCSF(豚コレラ)。養豚場への野生鳥獣侵入防止柵の設置支援、野生イノシシへの経口ワクチン散布、幹線道路での消毒薬散布など関係機関が一丸となって侵入・まん延防止対策を進めてきましたが、9月に管内の養豚場でCSFが発生しました。

このため、南信州地域特定家畜伝染病防疫現地対策本部を設置し、県・市町村・獣医師会など関係団体の延べ229人が、発生農場に対する防疫措置を行いました。

また、10月26日からは、飼養豚へのワクチン接種を開始し、二度と養豚場でCSFを発生させまいと、侵入・まん延防止対策に取り組んでいます。

9 月

「市田柿」のさらなるブランド化へ！！

産 業

「市田柿工房」の拡張工事が竣工、JAみなみ信州柿部会が内閣総理大臣賞を受賞

【地域振興局・農業改良普及センター】



市田柿工房 竣工式



市田柿工房での作業の様子

市田柿加工処理施設「市田柿工房」(JAみなみ信州)が、強い農業づくり交付金を活用して拡張され、9月に竣工式が行われました。この整備により、これまでに比べ約2倍の生柿の受入れが可能となりました。

また、同JAの柿部会は、市田柿の地域ブランドの確立と信頼ある商品作りを進めてきたことが評価され、3月に

「第48回日本農業賞 集団組織の部」として大賞(農林水産大臣賞)を、11月には、「第58回農林水産祭 多角化経営部門」で内閣総理大臣賞を受賞しました。

これを追い風に、関係機関・団体が連携して、「市田柿」のさらなるブランド化に向けて、栽培・加工技術研修会の開催などに取り組んでいます。

10 月

「南信州民俗芸能継承推進月間」で、さまざまなイベントを開催

人と地域

【地域振興局】



南信州民俗芸能フォーラム

当地域に伝わる民俗芸能の後継者育成と、未来への継承に向けた機運を高めようと、民俗芸能が多数公演される10月5日から11月9日までを「南信州民俗芸能継承推進月間」として、南信州民俗芸能フォーラムや南信州民俗芸能出張講座 in 安曇野など、さまざまなイベントを開催しました。

また、民俗芸能の継承に地域を挙げて取り組もうと、従業員の民俗芸能への参加を勧めるなどの支援をいただいている「南信州民俗芸能パートナー企業」は、30社が新たに登録され、82社となりました。

南信州地域が一丸となって、未来に活かすべき貴重な財産である「民俗芸能」の継承に向けた取組を進めています。

**早期の全線開通に弾み！
三遠南信自動車道「天龍峡大橋」が開通**



三遠南信自動車道 天龍峡大橋



そらさんぼ天竜峡からの眺め

飯田市と静岡県浜松市を結ぶ三遠南信自動車道の一部、飯橋道路の天龍峡 I Cから龍江 I C間の4 kmが、11月17日に開通。飯田山本 I Cから飯田上久堅・喬木富田 I Cまでの14.6 kmの通行が可能となりました。

開通区間に架かる「天龍峡大橋」に併設した歩道「そらさんぼ天龍峡」からは、天竜川や J R 飯田線を見下ろしながらの「空中散歩」が楽しめ、多くの人で賑わっています。

今回の開通で、総延長約 100km の 6 割となる約 59km が完成。早期の全線開通に期待が膨らみます。

長野県全域の重大ニュース

**台風第 19 号災害の復旧・復興を支援
～ONE NAGANO (ワン・ナガノ) を合言葉に～**



11/21 県職員ボランティアツアー

10月に発生した台風第19号。当地域は大きな被害を免れましたが、県内の各地で多くの皆様が被災され、今もなお生活再建と復興に向けた支援が必要とされています。

「ONE NAGANO (ワン・ナガノ)」を合言葉に各種イベントなどで義援金の募集や災害ボランティアへの参加を呼びかけました。

また、当地域の県現地機関や市町村からも職員を派遣して復旧・復興を支援しています。

他にもこんなことがありました！！

月	項目
3	春先の乾燥により山火事が多発！ ～山火事予防の取組を強化～
4	落石など様々な災害に対応するとともに 「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策事業」 を推進
9	東京 2020 オリンピック・パラリンピック選手村へ木材提供 ～提供木材出発式～
	働き盛り世代における「信州 ACE プロジェクト」を推進！！ ～「ACE フォーラム in 南信州 & 健康経営セミナー」を開催～



(主) 松川大鹿線の落合トンネル付近での落石



東京 2020 オリンピック・パラリンピック選手村へ提供木材出発式 (根羽村)



ACE フォーラム in 南信州 & 健康経営セミナー